

A T 通信

第59号
発行 2022年
1月17日
編集 我が社を
有名にする委員会

新たなワークスタイルを。東京事業所

2020年12月に有楽町に移転し開設した東京事業所。現在主に利用している5名のエンジニアに感想を聞きました。

- 昼ごはんの選択肢が豊富
- 駅から近く雨に困らない
- 作業をする部屋とは別に個室の会議室があり、区切られているのが良い。(以前のオフィスにはこうしたスペースなし)
- お客様を招きやすくなった。お客様からの評価も高く、仕事の連携体制がより充実した。
- 窓が大きく明るい
- いつもきれいにしている
- エレベーターが混む時がある
- 空調ききすぎ
- 出勤者が多い日は密になる

今だからこそ、オフィスの意味を考えたい

リモートワーク推進など働き方の多様性が進む中で開設した拠点で、徐々にリモートワークのデメリットも見え始めた1年でした。移転後は、以前よりもお客様の評価も高まり、エンジニアの

さらなる集中力・モチベーションの向上も期待できます。実はこの新事業所のコンセプトは **ATSUMARU** (あつまる) です。「気分転換に「みんなの顔が見たいから行きたいね」そんなふうに社員が気軽に集まる。そして知恵も集まる。ニューノーマルと言われる中、このオフィスの存在意義がこれからますます現れそうです。



テレワークで効率、快適性などは？

コロナ禍が続く中、当社でも少しずつテレワーク勤務者が増えてきました。実際テレワークってどうなの？というところで、首都圏と北陸を担当する、それぞれ2名に話を聞きました。

■ Aさん

(6月頃開始・川崎市で)
日々快適です！通勤時間(往復で3時間弱)がなくなったこと

で自分の時間が増えました。ただ、新人さんだと相談しにくいなど困ることがあるのではと思います。

■ Bさん

(10月頃開始・台東区で)
感染におびえて電車通勤(2時間強)をしなくてよくなりました。終日マスクから解放されて楽になり、体調不良で通勤が厳しいということも減りました。毎日オンラインで昼礼や、その他の時間も会議アプリで仲間とやりとりできるので、不安は感じません。

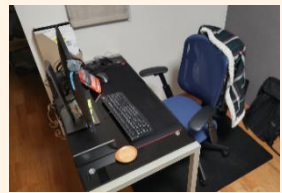
■ Cさん

(7月頃開始・金沢市で)
空調を自分に合わせられ、風を入れたりし爽やかです。集中もしやすいし、隙間時間も有効活用できます。休憩時間に人の目を気にせず体を動かせ、困ることはないですが、会社に行けばみんなの顔が見えたり気軽に情報交換できたりしてそれは必要かとも感じます。

■ Dさん

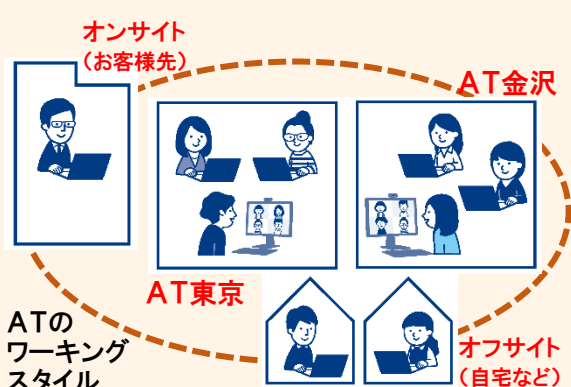
(10月頃開始・能美市で)
通勤時間(車で1時間弱)がなくなったことが一番大きいメリットです。子供に何かあったときの遅刻や早退でも常に1時間弱の移動時間を考える必要があり、半休や全休扱いにせざるを得ないケースがありま

したが、これが激減しました。とても働きやすくなりました。お話を伺うと、皆さん総じて「快適です！」「テレワークは感じません！」という感想でした。



おおむね快適！しかし社員同士のコミュニケーションにはやや難あり？

今回話を聞いたグループでは、基本的には社員の要望によりテレワークとオフィスのワークを選択できます。オフィスワークを望む社員は、経験年数が浅くリモートでの



仕事に不安がある、自宅での環境が整っていない、自宅で仕事をするメリットを感じない、という理由を挙げていました。業務内容によっては、単純にテレワークだけではいきませんが、会社は事業の性質ごと、より柔軟に働き方が選択できるというスタイルをさらに考えていきます。

新入社員3名が配属されました

2021年度に入社した新人3名が研修を経て各部に配属。2名は首都圏で大手企業の案件を、1名は金沢でシステム開発を担当しています。



お知らせ

2020年となり寒さが続く中、また感染症の波が訪れているようで、不安な日々が続いています。しかし今こそ次代に求められる新しい価値を創造し仕事に活かす大きなチャンスかもしれません。

